

2025年 市民自然環境調査

みぢかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ヒガンバナ）



上細井町

目 次

-
- | | |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |



令和7年10月
前橋市 環境部 環境政策課

1 調査の目的

環境基本計画に位置付ける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、令和3年から、次世代を担うこども達をはじめ広く市民の皆様に協力していただきながら、自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって、前橋市域の自然環境やその変化を知つていただくとともに、環境保全への意識啓発を図ることを目的として、ヒガンバナの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、私たちが身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを勘案し、「ヒガンバナ」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集します。(調査に参加する方を「隊員」といいます。)
- ②隊員は、調査するヒガンバナを決め、調査を行います。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出します。

(2) 調査の概要

テーマ	調査内容	調査期間
ヒガンバナの調査	開花日	8月15日(金)～9月30日(火)

3 調査の結果

ヒガンバナ

〈参考①〉 R6 みぢかな季節かんじ隊調査結果

- | | |
|------------------|------------------|
| ・調査隊員数：22人 | ・調査隊員数：26人 |
| ・調査地点数：25地点 | ・調査地点数：30地点 |
| ・開花日：8月21日～9月30日 | ・開花日：8月26日～9月28日 |
| ・平均開花日：9月17日 | ・平均開花日：9月16日 |



〈参考②〉 前橋地方気象台の観測データ（※1）

観測	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	9月14日	9月20日	9月11日	9月14日	9月25日	9月28日
平年差※2	+1	+7	-2	+1	+12	+15
昨年差※2	+2	+6	-9	+3	+11	+3

※1 気象庁生物季節観測は令和2年度末で廃止のため、令和3年度以降は未記載

※2 平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数の場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。

〈参考③〉 みぢかな季節かんじ隊の調査データ

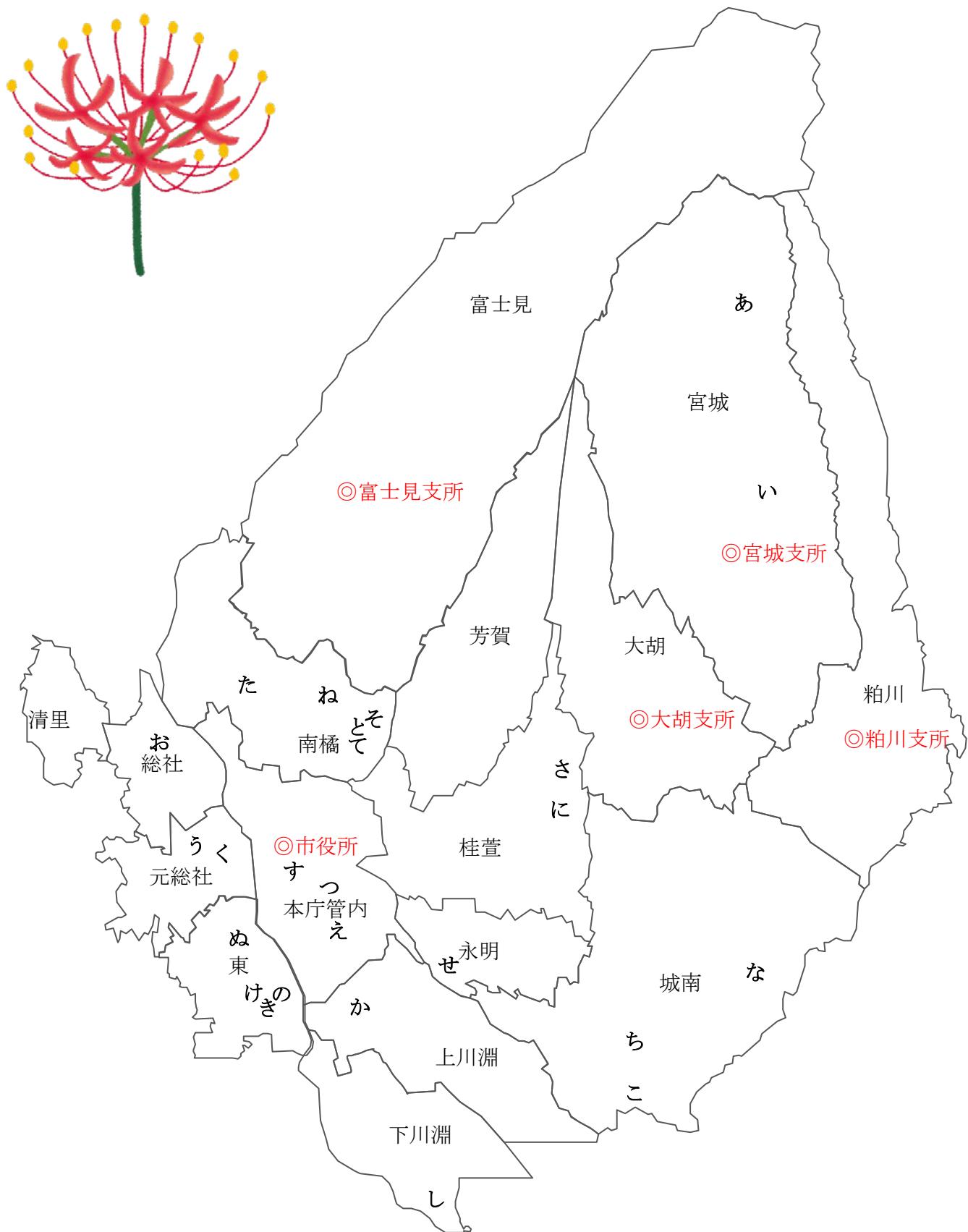
	R3	R4	R5	R6	R7	5年平均値
平均開花日	9月11日	9月12日	9月17日	9月16日	9月17日	9月14日
昨年差	-	+1日	+5日	-1日	+1日	-

4 調査データ

調査結果集計表						
番号			調査地点		調査結果	
1 受 付 番 号	2 隊 員 番 号	3 調 査 地 点	4 町 名	5 地 点 名	6	7 周 り の 環 境
1	1	あ	苗ヶ島町	千本桜公園東側	9月14日	森・林
2	2	い	柏倉町	自宅	9月3日	田んぼ・畑
3	3	う	元総社町	自宅・墓地	9月15日	住宅街・公園・墓地
4	4	え	天川原町	群馬県立聾学校	9月23日	学校・公共施設
5	5	お	総社町植野	天狗岩用水立石橋北の側道	9月18日	土手
6	6	か	上佐鳥町	西光寺の北側土手	9月24日	土手
7	7	き	上新田町	利根川(新田小東付近)の土手	9月20日	土手
8	8	く	元総社町	染谷川(遊歩道)	9月23日	土手
9	9	け	箱田町	滝川側道	9月25日	土手
10	10	こ	下増田町	一	9月21日	田んぼ・畑
11	11	さ	亀泉町	自宅庭	9月21日	住宅街
12	12	し	横手町	横手町	9月15日	公園・墓地
13	13	す	紅雲町	曹洞宗長昌寺	8月21日	公園・墓地
14	20	て	上細井町	八幡山公園	9月21日	公園・墓地
15	21	の	箱田町	自宅	9月16日	住宅街
16	22	な	西大室町	自宅	9月23日	その他
17	19	に	上泉町	上泉地区	9月22日	土手田んぼ・畑
18	18	ぬ	小相木町	自宅南にある草地	9月19日	住宅街
19	15	そ	上細井町	自宅庭	9月30日	住宅街
20	14	せ	上大島町	自宅	9月20日	住宅街
21	17	つ	文京町	二子山(古墳)公園	9月27日	公園・墓地
22	17	た	荒牧町	庭先 宅内	9月23日	住宅街
23	17	と	上細井町	南橘八幡霊園公園	9月22日	公園・墓地
24	17	ち	上増田町、下増田町	上増田町、下増田町の畦道	8月30日	田んぼ・畑
25	16	ね	川端町	川端町	9月10日	田んぼ・畑
平均					9月17日	

5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を地図上に表示しています



6 参加者の声と写真（一部抜粋）



こ 下増田町

- ・今年は猛暑で温度差がなく少し遅かったように思います
(隊員番号 11)

・高台にある公園の西と南側の斜面が土手になっており、今年は一面見事な開花が見られました。丁度草刈がされた後だったので、それはそれはきれいでました。(隊員番号 20)

• だいぶ遅れて咲いていました。
(隊員番号 10)

- ・土手沿いにヒガンバナが列をなして咲きました。昼間はまだまだ暑いですが、秋の訪れを感じました。(隊員番号 5)



ね 川端町

- ・今年は暑い日が続いたこともあり、遅い初認となりました。9月10日、毎年定点観察をしている場所ではまだ蕾でしたが、近くの田んぼの畔ですでに数輪咲いているのが見られました。9月末頃には散歩コースのあちこちで畔を真っ赤に染めていました。(隊員番号 16)



し 横手町

- ・紅白のヒガンバナ大好きです。毎年楽しみにして、一生懸命手入れをしています。(隊員番号 2)

• おばあちゃんの家から見えた彼岸花です。毎年、私の誕生日(9月22日)の頃に咲いているのをよく見ましたが、今年は少し早く咲いたように感じました。(隊員番号 12)

- ・知人宅内での開花。今年は猛暑日が連続したので庭先の除草もはかどらないと同時に開花にも気づかず一度刈り払いしてしまった。例年通りお彼岸時期に開花してますとのこと。(隊員番号 17)



た 荒牧町

- ・前々日は全く気配を感じず。前日は雨にて見に行かず、今朝あちこち開花でビックリしていました。(隊員番号 1)

・農家の仕事の草刈り場になった田圃の畦道にたくさん芽出して何度も何度もカットされても彼岸ごろにあらゆる畦道に彼岸花の開花の饗宴が今年も観察することができました。（隊員番号17）



ち 上増田町、下増田町の畦



そ 上細井町

・鳥が球根を運んだのか、数年前から庭の片隅で咲き始めました。猛暑のため、今年はいつ咲くのかと思いましたが、昨年と同じ日に真っ赤な色で、咲きました。（隊員番号15）

・県立文書館に2週間ごとに通っている中、たまたま見かけると、ほぼほぼ満開でした。おそらく開花日はお彼岸時期が妥当でしょう。昨年より咲く面積が少なくなりました。古墳の斜面にはびっくりするほど咲いてません。（隊員番号17）



つ 二子山(古墳)公園



・赤のヒガンバナは9/15咲いた。白のヒガンバナは9/13に咲いた。（隊員番号3）



な 西大室町

・時間に追いこされました！（隊員番号22）



と 南橋八幡靈園公園





か 西光寺の北側土手

・待ちに待ったヒガンバナ。やっと咲きました。昨年より 4 日遅いです。この 3 年間は毎年遅く咲きます。近年の猛暑が影響しているのでしょうか。
(隊員番号 6)



の 箱田町

・校庭東側フェンス沿い。近所の他の場所では開花していたので、何度も確かめに行きましたが 2~3 日遅かったですね！(隊員番号 4)

・散歩道でヒガンバナが田んぼの土手に咲いている。最近では数が多くなっている。花壇にも赤・白が植えられるようになってきた。昔は毒がある、家に持ち帰ると火災が起きる等の言い伝えがあったが昔の迷信であろう。田んぼの土手にヒガンバナの球根を植えてその毒性を利用して、水漏れ防止をしたようです。(隊員番号 19)



に 上泉町

・雑草や畠や小さな木々があるところに、2、3本が離れ離れに咲いています。(隊員番号 18)

・利根川サイクリング道は散歩コースです。先日いつものヒガンバナ調査場所でないところでしっかり 3~4 輪咲いているのを見て、いつもの場所に行ってみても全く花茎もありません。(草刈りしたのか？) 場所によって咲き始めているところと、これからのところとあり、ちょっと迷いましたが、全体の感じで 9/20 とさせていただきました。(隊員番号 7)

7 参考資料

ヒガンバナについて

別名マンジュシャゲと呼ばれる多年草で、秋になると道端や墓地、あぜ道などに集団で花を咲かせる。日本各地や中国に分布しており、花が終わった後に葉が出る。



種類について

ショウキズイセン：沖縄地方でのヒガンバナの代替品種。黄色い花を咲かせる。

シロバナマンジュシャゲ：ヒガンバナとショウキズイセンの交雑種だと言われており、白色の花を咲かせる。

キツネノカミソリ：オレンジ色でヒガンバナと似た花を咲かせる。花はあまり反り返らない。

8 事務局より

今年度の「ヒガンバナ」の調査では、22人の隊員の皆様から沢山の写真とともにご報告をいただきました。猛暑が異常な長さで秋口まで続き、調査期間内においても 21 日間の猛暑日を記録しました。例年以上に厳しい条件の中での調査は大変だったことと思いますが、隊員の皆様におかれましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。開花期間が 1 週間程度と美しくも儂いヒガンバナですが、過酷な暑さを乗り越えて鮮やかに咲き誇る姿が伝わり、秋の訪れを望む気持ちが感じられました。異常気象が続く中でも、ヒガンバナが秋の風物詩として咲き続けてくれる事を願うばかりです。また来年も皆様からのご報告をお待ちしております。

今後も「みぢかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。

一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。

一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。

一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。

一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に关心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様に改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。